

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「寄稿文」
- 4 「領事便り」
- 5 「広報・文化便り」
- 6 「日本関連行事等のお知らせ」

\*\*\*\*\*

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

3月以来の久しぶりのメルマガになります。皆様、如何お過ごしでしょうか。

7月に入り、ケベック、モンリオールでは、コロナの感染は比較的落ち着いています。6月、感染が完全に収束していない段階で、経済活動を再開することについて懸念があったのですが、幸いなことに、これまでのところこの懸念は現実化していません。

しかしながら、感染が抑えられているとはいえ、依然としてモンリオールでも毎日数十名の感染者が出ており、私たちはコロナウイルスとの共存を強いられています。既に私たちの日常にも様々な面で影響が見られます。ケベック州政府は公共スペースにおいてマスクの着用を義務づけました。大変結構なことだと思いますが、当分マスクが不可欠な日々が続くこととなります。また、近い将来、日本との往来が自由化される見込みは薄く、仕事や家族の動きに大きな制約をもたらしています。更に、こうした移動の制約から、当面当館館員が各地に出張して皆様に領事サービスを提供することができなくなっています。そのため皆様に不自由をおかけすることになりますが、当館としては、オンラインや郵便を使っての事務処理等により、できるだけ領事サービスに支障が出ないよう努めていきます。

このように大きな制約がありますが、総領事館としてはできるだけ通常に近い活動を維持していく考えです。今回のこのメルマガもそのような試みの一環として再開することとしました。これから当地は夏休みの時期になりますが、皆様におかれましてもお身体に気をつけて、カナダの短い夏を楽しんでください。

2 総領事館からのお知らせ

(1) 2020年7月の休館日のお知らせ

2020年7月24日(金) スポーツの日

3 寄稿 ～志道柔道クラブ代表 中村 浩之～

私は昭和17年(1942年)6月、太平洋戦争が始まって6か月後、東京都台東区根岸で、

男六人兄弟の四男として生まれました。

幼少のころの思い出は、疎開していた埼玉県加須市の中村家本家で、終戦間近だと思いますが、東京大空襲で夜空を焦がす物凄い勢いで東京が焼けているのを目の当たりにし、恐怖に駆られて見たこと、また、戦後、連合軍がジープ、戦車、何十台も連ねて、轟々と音を立てながら通り過ぎるのをこわごわ眺めていたことです。東京に戻ったら一面焼け野原になっていて、いつもお腹が減っていたことだけを思い出します。

柔道を始めたのは、中学に入学したころで、近所の友達と谷中警察の小さな道場で非番の警察官に指導を受けました。しかし、どうも物足りなくて、満足できず、水道橋の講道館に入門しました。その頃の講道館は水道橋の駅前にあり、毎日、何百人の柔道家が集まって来、稽古をしておりました。

少年のクラスは、まだ十分に指導されないままで、明治高校の田中早実、奥村氏など、実力のある若い高校生が我々の指導をしてくださいました。そこで、基本を教えていただくために、家の近くの宇津木道場の門を叩き、講道館町道場での1日2回の稽古が始まりました。

中学から高校に進む頃、春日町に新しい講道館が出来、少年の稽古も組織的になり、三船十段が少年たちを相手に稽古してくださいました。私も何回か稽古していただきました。私は14、5歳で余り大きな方ではありませんでしたが、先生は更に小さく、老人であったものの、何回稽古してもころころ投げ飛ばされた思い出があります。

その後、中央大学に進み、更に厳しい稽古に励み、幸い、全日本大学選手権、全日本選手権無差別級などに出場し、まあまあ成績を収めることが出来ました。

1964年、東京オリンピックを目差し、練習に励んでおりましたが、後少しというところで出場を逃しました。卒業後は広告の博報堂に入社し、仕事、柔道に励んでおりましたところ、1966年、外務省、講道館の推薦により、柔道普及発展のため、中近東（エジプト、スーダン、イラン）で1か月半ほど派遣され、毎日、違う町、軍隊、道場を回り、デモンストレーション、また、試合（レスラー、ボクサー、柔術家）をして回りました。それは大変きつい（特に下痢に悩まされた）日々でした。

それまで余り、海外に行くことなど興味もなく、考えてもいませんでした。しかし、日本に帰って、少し考えが変わってきて、海外に出て柔道の発展、指導に人生を賭けても、おもしろいのではないかと思っていた時、講道館よりベルギーナショナルコーチの話が来ました。2か年契約でしたが、2年間、会社を休んで戻ってきても、同僚たちより出世がだいぶ遅れてしまうな、と思っていたところ、講道館の仲間で東京オリンピック前より一緒に稽古していたカナダ人柔道家（ダグ・ロジャース-東京オリンピック第2位）たちから、ぜひカナダに来て柔道を指導してくれと話があり、モントリオール出身のテリー・フランウォース氏を仲立ちに、その父親がスポンサーになり、永住権を取ってくれました。そこで会社を辞め、カナダに移住することに決めました。

カナダでの目標は、自分が出来なかった

1. オリンピック競技のメダリストを育てること
2. カナダではマイナーなスポーツ、柔道をホッケーのようにポピュラーにする
3. 自分の名前がカナダ柔道史の1ページに残るような実績を残す

であります。

1968年5月末、柔道着と200米ドルをポケットに羽田を出発し、ハワイ、ロス、フレズノ、サンフランシスコ、サクラメント、バンクーバー、レスブリッジ、シカゴ、デトロイト、ニューヨークを2か月ほどかけて、各地の道場を回り、武者修行をしながら、モントリオールに着きました。

私が来た50年前は、カナダ講道館柔道有段者会のほかに3つの団体があり、少し驚きました。まずは、日系人の道場、沖村氏が代表の誠道館に腰を落ち着け、モントリオール、カナダ各地の道場、ほかの協会のクラブにも出かけ、自分の実力を試し、名前を売ることに努めました。

しかし、1970年秋に膝の怪我をし、手術、その後、化膿してしまい、3か月ほど入院を繰り返して、収入が途絶え、一時は、日本に引き揚げようかとも考えましたが、友人、生徒に助けられ、思い留まり、やはり、自分の道場を持たなければと考え、ドーバルショッピングセンターの裏に道場を作りました。それから、3年、ようやく軌道に乗ってきましたが、子供たちはたくさん来るのですが、私が一番期待している14~20歳くらいの若者が少なく、私がカナダに来た目標の一つ、自分の手でメダリストを作るには難しいと考え、モントリオール市内、特に大学の近くに行かなければと、1973年NDGに新しい道場、志道館を設立しました。

カナダに来て驚いたことは、どこの道場も週2、3回の練習しかしておらず、特に、ケベックでは5月のカナダ選手権が終わると6月から8月まで、どこの道場も夏休みになり、また、9月から始まるということで、これでは世界的な選手を作ることはできないと考え、志道館では12か月、休みなく、毎日練習できる環境を作り、誰がいつ来ても稽古できる環境を作り、私も朝10時ごろより夜10時ごろまで、誰がいつ来ても稽古できるようにしました。

幸運にも、その後、直ぐ、1976年モントリオールオリンピックのヘッドコーチに任命され、各州より若い選手が集まって来ました。当時は、協会の予算も少なく、皆、自費参加でした。そこで、家を開放し、いつも4、5名の若者が私の家に泊まり、食事をしておりました。最初のころは12、3名でしたが、段々選手が増え、モントリオールオリンピックに臨みましたが、メダルに届かず、私は解任されてしまいました。その後、ケベック州のテクニカルディレクター兼コーチという話が来、フランス語皆無の私でしたが、1984年、柔道カナダより、また、ナショナルコーチに任命されるまで続けました。昼は協会、夜は道場、週末は講習会、試合をオーガナイズ、コーチと(約40週末)働きました。

モントリオールオリンピックでは結果はよくありませんでしたが、その時、一緒に練習をしていた15歳から17歳くらいで2世代目のドホティー、ジャニ、ファロー、タカハシといった若い世代が育って来、ドホティー、タカハシ、世界選手権3位、ジャニ、嘉納杯、パリ国際2位、ファロー、パンナム優勝と、この世代が1988年ソウルオリンピックまで続きます。1989年、8年間の契約でしたが、またコーチを解任され、それからは、協会なしで、志道館だけで努力しました。

1992年バルセロナオリンピックでは、私の考え、計画していた3世代目の若い選手が育ち、ニコラス・ギル、キーズ・モーガン、タロウ・タン、ジャン・ピエール・カンテン、ミシェル・バックingham等、若者たちが活躍し始め、バルセロナでは遂にギルが銅メダルに輝きました。私がこちらに来た夢の実現でした。その後、ギルは世界選手権、2位、3位2回、シドニーオリンピックでは、決勝で井上選手に敗れましたが、銀メダルという偉業を打ち立てました。そのほかにもこの若者たちは、世界の大会で、活躍しました。

志道館も1985年、市に認められ、NDGに道場をいただき、毎日、柔道一本でやれる環境を作っていたいただき、今日に至っております。

ナショナルチームのコーチは2004年、アトランタオリンピックまで、続けましたが、その後はニコラス・ギルが担当になり、今はオリンピックスタジアムにナショナル道場も出来、志道館は18歳以下のユース・トレーニングセンターとして、有望選手の育成に励んでおります。

2011年、エリザベス二世ダイヤモンドジュビリー、2012年、オーダーオブカナダ、2019年、カナダオリンピック委員会殿堂入り、2019年秋の叙勲で日本国より旭日単光章を受章など思いもよらない名誉をいただき、光栄に思っております。

私の座右の銘は、「一日一生、子供のころからの夢を目標にし、毎日、精一杯努力し、次の日に何事も残さないように生きる。そうすることで、最期の時、後悔のない人生を送る」です。それを信条に、日々を過ごしております。

志道柔道クラブ代表 中村 浩之

#### 4 領事便り

##### (1) 領事窓口の開館時間

当地における新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、当館の感染予防を徹底しつつも、在留邦人の皆さまのニーズに適切にお応えしていくため、本年4月1日より当面の間、以下のとおり領事窓口時間を短縮していますので、改めてお知らせいたします。

##### ・領事窓口の開館時間

10:00～15:00（昼12:30～13:30を除く）

※9:00～10:00及び15:00～17:00につきましても、電話照会（緊急の場合）・メール対応を実施しています。

##### ※来館時の注意点

本年3月25日よりケベック州政府の要請を受ける形で、当館が入居するビル管理会社側が、入居テナント従業員以外の入館を1階受付において制限しています（土日祝日等の休館時対応と同様の措置）。

当館へ来館される方につきましては、1階受付において、氏名とともに在モンリオール日本国総領事館への訪問理由を告げるにより、入館を許可されることとなっています。

##### (2) 本年度の領事出張サービスについて

新型コロナウイルス流行の影響により、現時点においては領事出張サービスの実施を見合わせている状況です。

今後、各州の状況を注視しつつ、行動・移動制限が緩和されれば、領事出張サービスの再開を検討しますので、在留邦人の皆さまにおかれましてはご不便をおかけしていますが、ご理解賜りますよう宜しくお願いいたします。

##### (3) 新型コロナウイルス感染症に伴う郵便の受付が停止されている海外の国・地域に居住する年金受給者の現況届について

海外に居住している年金受給者は、年金の支給を引き続き受けるために、毎年、現況届に在留証明書等の生存確認ができる書類を添えて、日本年金機構（以下「機構」という。）へ提出いただく必要があります。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症の影響によって郵便の受付が停止されている海外の国・地域に居住する年金受給者については、提出期限までに現況届を機構に提出することや、機構から現況届を送付することができなくなっています。

このため、郵便の受付が停止されている海外の国・地域に居住する年金受給者（提出期限が令和2年2月末日以降である者）については、それぞれの国・地域において郵便の受付が再開さ

れた後3ヶ月後までの間は、現況届の提出がなくても年金の支払いを継続する取扱いとしています。

<https://www.nenkin.go.jp/oshirase/taiyetu/2020/202006/2020061001.html>

なお、本件詳細については以下へ直接お問い合わせください。

・日本年金機構 ねんきんダイヤル (81) 3-6700-1165

## 5 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を ( culture@mt.mofa.go.jp ) までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

### (1) オタクソン2020

日本のアニメ、マンガ、ビデオゲーム、ポップカルチャーに関する集りです。今年はオンラインで開催されます。期間中、当館協力事業として、日本文化紹介を行う予定です。

日時：8月15日(土)・16日(日)

<https://www.otakuthon.com/2020/en/>

### (2) YATAI MTL 2020 a la maison

日本のストリート・フード・フェスティバルです。今年はオンラインで開催されます。期間中、当館協力事業として、日本文化紹介を行う予定です。

日時：8月21日(金)～23日(日)

<https://www.facebook.com/yataimtl/>

## 6 日本関連行事等のお知らせ

\* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

\* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様への御参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんので御了承ください。

### (1) モントリオール市立植物園日本館・日本庭園でのイベント

9月7日(月)まで、折り紙及び日本庭園案内が行われています。

場所：モントリオール市立植物園日本館・日本庭園(植物園入園料がかかります。)

4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

(折り紙) <http://calendrier.espacepoulavie.ca/origami-907996>

(日本庭園) <http://calendrier.espacepoulavie.ca/the-art-of-japanese-gardens>

### (2) ファンタジア国際映画祭

今年はオンラインで、日本映画も上映されます。

期間：8月20日(木)～9月2日(水)

<https://fantasiafestival.com/en/>

### (3) ラヴァル大学図書館エスパス・ジャポン書道部開講

日本在住の寺本小鳳先生の直接指導によるオンライン書道部が開講します。初心者向けではなく、小・中学校等で書道の経験があり、もう一度書道を基礎から始めてみたいという方を対象に若干名募集しています。オンライン(Cisco Webex Meeting)ですので、ケベック市に在住されていない方でも受講可能です。

9月17日より隔週木曜日19時半～21時半：6回講座  
(9月17日、10月1日、15日、29日、11月12日、26日)

受講料：84\$

連絡先：佐藤祥子氏 [Sachiko.sato@crchudequebec.ulaval.ca](mailto:Sachiko.sato@crchudequebec.ulaval.ca)

---

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 [emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp)

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、 [emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp) までご連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モントリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/mailmag.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html)

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ ( [www.kantei.go.jp](http://www.kantei.go.jp) )

外務省ホームページ ( [www.mofa.go.jp/mofaj/](http://www.mofa.go.jp/mofaj/) )

在カナダ大使館ホームページ ( [www.ca.emb-japan.go.jp](http://www.ca.emb-japan.go.jp) )

当館ホームページ

( [https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html) )

当館 Facebook ( [www.facebook.com/JapanConsMontreal](https://www.facebook.com/JapanConsMontreal) )

○発行：在モントリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333,

Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当 ( [emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp) ) までご相談ください。

■-----■